

## オリエンタルチェン工業（6380）

担当 織田真由美

レーティング：**NEUTRAL**（2017/12/4）→ **NEUTRAL**

- ※ 世界最小のチェーンなどニッチな製品に強み
- ※ 医療機器向けに注力し、2023年夏に新工場稼働
- ※ 復配の可能性を視野に

	売上高 (百万円)	伸び率 (%)	営業利益 (百万円)	伸び率 (%)	経常利益 (百万円)	伸び率 (%)	純利益 (百万円)	伸び率 (%)	EPS (円)	1株配 (円)
単 19/3	3,580	+4.9	117	+17.5	124	+34.8	80	+38.4	54.86	0.00
単 20/3	3,265	-8.8	14	-87.6	15	-87.9	-5	-	-3.48	0.00
単 21/3	2,929	-10.3	8	-42.9	16	+7.5	-8	-	-6.12	0.00
単 22/3	3,356	+14.6	108	-	118	+629.5	28	-	20.39	0.00
単 23/3(会社予)	3,698	+10.2	142	+31.5	174	+47.2	109	+288.6	79.24	0.00
単 23/3(今村予)	3,698	+10.2	142	+31.5	174	+47.2	109	+288.6	79.24	0.00
第2四半期累計期間										
単 21/4-9	1,578	+13.7	21	-	20	-	10	-	7.76	0.00
単 22/4-9	1,957	+24.0	87	+302.5	115	+452.1	73	+586.6	53.28	0.00
株価(2022/11/22)			860	円						
発行済み株式数(22/9 末)			1,467	千株						
自己株式数(22/9 末)			81	千株						
時価総額			1,262	百万円						
企業価値(EV)			2,092	百万円						
ROE(22/3 実績)			2.0	%						
予想配当利回り(23/3 今村予)			0.0	%						
予想PER(23/3 今村予)			10.9	倍						
BPS(22/9 実績)			1,103.93	円						
PBR			0.8	倍						
CFPS(22/3 実績)			139.0	円						
PCFR			6.2	倍						
EV/EBITDA(22/3 実績)			6.7	倍						



株価チャート(週足)

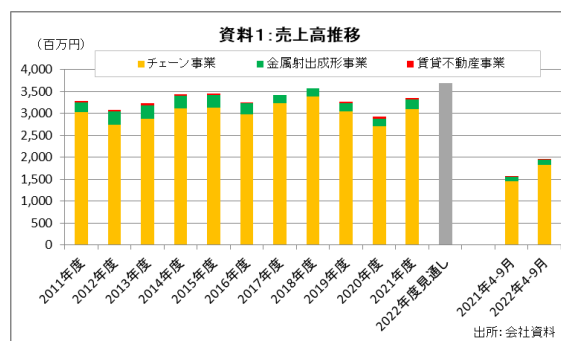
出所:オリエンタルチェン工業、ブルームバーグ、今村証券

### ※ 会社概要…多品種小ロット生産が強みのチェーンメーカー

産業機械向け伝動用ローラチェーンの製造・販売が主力事業で、多品種小ロット生産が強み。医療用機器の内視鏡などに使われるミニチェーンでは世界トップクラスのシェアを誇る。金属射出成形加工による精密機器関連部品も手がける。

### ※ 業績…コロナ禍からの回復

2023年3月期第2四半期業績は増収増益。不動産賃貸事業は減収赤字となったものの、コロナ禍からの経済正常化に伴い需要が持ち直し、チェーン事業及び金属射出成形事業が増収増益となったことが要因だ（資料2参照）。チェーン事業では工作機械業界や搬送機械業界向けが伸び、金属射出成型事業では医療機器分野での受注が増加したうえ、自動車業界向けの受注が一時的に増加したことも追い風となった。売上高は期初予想を2億円余り上回り、前



出所:会社資料

年同期比 24.0%増の 19 億 57 百万円となった。

利益については増収による生産性改善やコスト抑制などが奏功、営業利益は期初予想を 22 百万円上回り 87 百万円となり、純利益は為替差益 21 百万円の計上が利益を押し上げ、期初予想を 32 百万円上回った。

資料2：セグメント別売上高・営業利益

	2021年度第2Q		2022年度第2Q			
	売上高 百万円	営業利益 百万円	売上高 百万円	前年同期比 %	営業利益 百万円	前年同期比 %
チェーン事業	1,462	82	1,830 ( +25.2 )		147 ( +77.4 )	
金属射出成形事業	92	6	120 ( +30.9 )		27 ( +343.1 )	
不動産賃貸事業	23	12	5 ( ▲ 74.3 )		▲ 1 ( - )	

上期業績が期初予想を上回ったことで、会社は通期業績予想を増額修正した(資料3参照)。ただ、増額幅は売上高で1億88百万円、営業利益で6百万円、純利益で22百万円と、いずれも上期の上ぶれ分よりも低い水準にと

資料3：通期業績予想の修正

非連結	売上高 百万円	営業利益 百万円	経常利益 百万円	純利益 百万円	EPS 円
前期実績	3,356	108	118	28	20.39
前回予想	3,510	136	146	87	63.09
今期見通し	3,698	142	174	109	79.24

どまった。前期に見られた先行受注が落ち着いてきたことや、金属射出成型事業における上期の特需要因が剥落することが要因で、さらなる原材料価格の上昇を見込むほか、不動産賃貸事業で赤字が見込まれることが利益押し下げ要因となる。

## ※ 強み…世界最小のチェーンなどニッチな製品

強みは海外で知名度が高いこと、多品種小ロットに対応できること、幅広い業種に使用されているため好不況の影響を受けにくいこと、が挙げられる。

また、ニッチな製品で他社との差別化を図っている点も特長的だ。世界最小のチェーン「S10 ミニチェーン」はチェーン部品の「ピン」と「ピン」の間がわずか3.175mmで、医療用内視鏡用で高いシェアを持つ。このほか、高耐食性を備えたローラチェーンの引き合いも堅調だ。会社は掲げる中期経営計画でこれらのオンリーワン、ナンバーワン製品の販売拡大に取り組むとするほか、2021年に大同工業との業務提携を発表、相互製品供給によるラインナップの補完拡充、売上規模の拡大、相互生産委託による生産効率向上をもくろむ。約3億円を投じる新工場は2023年夏にも稼働予定だ。

今期は好調ながら、来期業績については今期に発生した一時的な需要増加の反動が見込まれることから、利益はほぼ横ばいとなりそうだ。今村証券では売上高は6%程度増収の39億40百万円、営業利益1億40百万円、純利益1億円、80円程度を予想する。

なお、会社は今期が最終年度となる中期経営計画で、「早期の復配」を目標に掲げる。復配の可能性を視野に入れておきたい。

資料4：チェーン部品の名称



## ※ 投資判断

株価は10月に約4年ぶりの高値を付けた後、足元はやや調整局面にある。来期業績は伸び悩む懸念があることから、投資判断はNEUTRALとする。

---

## アナリストによる証明

本資料に示された見解は、言及されている発行会社とその発行会社等の有価証券について、各アナリストの個人的見解を正確に反映しており、さらに、アナリストは本資料に特定の推奨または見解を掲載したことに対して、いかなる報酬も受け取っておらず、今後も受け取らないことを認めます。

---

## レーティングの定義

OUTPERFORM：今後12ヶ月間のトータルリターンがTOPIXの予想リターンを10%超上回ると予想される。

NEUTRAL：今後12ヶ月間のトータルリターンがTOPIXの予想リターンの+10%と-10%の間に入ると予想される。

UNDERPERFORM：今後12ヶ月間のトータルリターンがTOPIXの予想リターンを10%超下回ると予想される。

トータルリターン：株価変動率+配当利回り

目標株価は12ヶ月間の投資を想定しており、将来発行されるレポートで修正されることもあります。

---

本資料に記載された意見及び予想は、記載された日付における今村証券の判断であり、これらは予告なく変更される場合があります。今村証券は本資料の記載された日付以降に内容の変更・修正を行う義務を負いません。本資料はお客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の有価証券売買に関する申込または勧誘を意図するものではなく、お客様に対して投資の助言を提供するものでもありません。また、本資料に記載されている情報もしくは分析がお客様にとって適切であると表明するものでもありません。投資に関する最終決定はあくまでもお客様ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。

本資料に記載された内容は、信頼できると思われる情報、または信頼できる情報源から得た情報を基に今村証券が作成しておりますが、機械作業上データに誤りが発生する可能性があります。当社はその内容の正確性及び妥当性、適時性または完全性を保証するものではありませんし、本資料における過誤又は遺漏に対して何らの責任を負うものでもありません。本資料でインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、当社自身のアドレスが記載されている場合を除き、アドレス等の内容について当社は一切責任を負いません。本資料は、当然にお客様の投資結果を保証するものではありませんので、今村証券は、本資料の内容について第三者のいかなる損害賠償の責任を負うものでもありませんし、お客様が本資料に依拠した結果としてお客様が被った損害または損失については一切責任を負いません。また、今村証券は本資料に関するお客様からのご質問やご意見に対して、何ら対応する責任を負うものではありません。

当社および関係会社の役員は、本資料に記載された証券について、ポジションを保有している場合があります。当社および関係会社は、本資料に記載された証券、同証券に基づくオプション、先物その他の金融派生商品について、買または売りのポジションを有している場合があります。今後自己勘定で売買を行うことがあります。また、当社および関係会社は、本資料に記載された会社に対して、引受等の投資銀行業務、その他サービスを提供し、かつ同サービスの勧誘を行う場合があります。

**日本および外国の株式・債券への投資は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより、投資元本を割り込むリスクがあります。**

本資料は当社の著作物であり、著作権法により保護されております。当社の事前の承認なく、また電子的・機械的な方法を問わず、本資料の全部もしくは一部引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

## 今村証券の営業サービスネットワーク

本店：076-263-5111	小松支店：0761-23-1525
弥生支店：076-242-2122	加賀支店：0761-73-3133
七尾支店：0767-52-3122	富山支店：076-432-2131
高岡支店：0766-26-1770	砺波支店：0763-33-2131
福井支店：0776-22-6644	板垣支店：0776-34-6996
敦賀支店：0770-25-3387	

## 株式、債券、投資信託の手数料等およびリスクについて

- 国内株式等の売買取引には、約定金額に対して最大 1.201750% (税込) (1.201750% に相当する金額が 2,612 円未満の場合は 2,612 円 (税込)) の委託手数料をご負担いただきます。
- 国内株式等を募集等によりご購入いただく場合は購入対価のみのお支払いとなります。
- 国内株式等は、株価など売買価格の変動により損失が生じるおそれがあります。
- 外国株式 (外国 ETF、外国預託証券を含む) の外国金融商品市場等における委託取引にあたっては、売買金額 (約定金額に外国金融商品市場における手数料と税金等を購入の場合には加え、売却の場合は差し引いた額) に対し、最大 0.990% (税込) の国内取次手数料をいただきます。外国金融商品市場での取引にかかる手数料、税金等は国 (市場) により異なります。
- 外国株式の国内店頭取引にあたっては、取引価格に取引の実行に必要なコストが含まれているため、別途手数料は必要ありません。
- 外国株式 (外国 ETF、外国預託証券を含む) の売買、配当金等の受取り等にあたり、円貨と外貨を交換する際は、外国為替市場の動向をふまえて今村証券が決定した為替レートを用います。
- 債券を募集・売出し等によってご購入いただく場合は、購入対価のみのお支払いとなります。
- 債券は、市場の金利水準の変動等により債券の価格が変動しますので、損失が生じるおそれがあります。さらに外国債券は、為替相場の変動等により元本損失を生じる場合があります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本損失を生じる場合があります。
- 投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資 1 単位当りの価値が変動します。したがって、お客さまのご投資された金額を下回ることもあります。
- 投資信託にご投資いただくお客様には、銘柄毎に設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費等をご負担いただきます。
- 株式、債券および投資信託のリスクにつきましては、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面やお客様向け資料をよくお読みください。

# 今村証券株式会社

金融商品取引業者 北陸財務局長 (金商) 第 3 号  
日本証券業協会加入